



分科会テーマ 「防災・減災」

防災・減災の学びを通じた「まちづくり」

～持続可能な地域をつくるための人づくり～

岡山市立公民館



はじめに

岡山市の公民館における防災・減災の学びとは、
人と人の関係を基礎とした「まちづくり」

災害の影響を最小限に抑え、被害を受けてもお互いに助け合いながら立ち直ることができる関係が、
防災・減災力であり、同時にしなやかな回復力

その関係をつくり、「まちづくり」を担う人が育つ学
びの場が、公民館



1995年 1・17阪神淡路大震災

阪神淡路大震災 - Bing 画像より



2011年 3・11東日本大震災

写真提供 仙台市



3・13避難所（震災2日後）



写真提供 仙台市

3・23避難所（震災12日後）

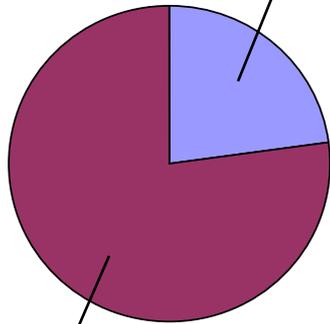


**阪神淡路大震災・中越地震など
災害の経験を通して学ぶ**

2つの大震災からみえてきた課題

- 被災当初は被害が甚大で、組織的な援助は見込めない

警察・消防・自衛隊による救出 8,000人



近隣住民による救出 27,000人

住民同士の救助が8割

情報が届きにくい

安定的な援助に時間が必要

自助・共助の意識を向上させることが求められる

岡山の災害状況



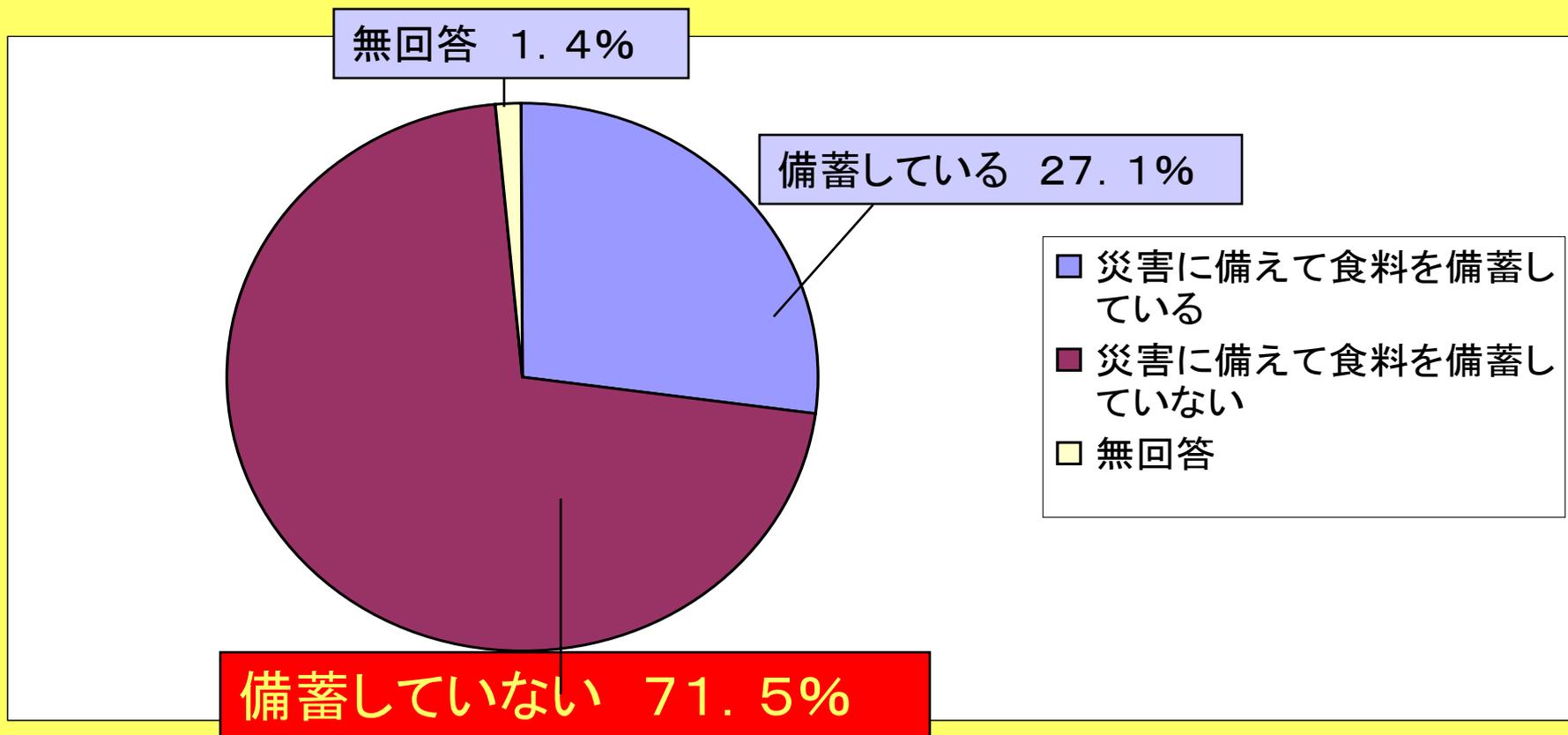
岡山県 久米郡旭町
栃原地区 土砂崩れ
岡山県土木部防災
砂防課HPより



岡山市北区横井上
岡山災害 - Bing画
像より

岡山市民の意識は・・・

岡山市意識調査 2013年結果



現在の岡山市防災・減災活動

岡山市危機管理課(現 危機管理室)による

防災説明会





公民館の防災・減災活動

防災教育→防災リーダー養成・人材育成



まちづくり

事例)

- ①防災ボランティアグループ(吉備公民館)
- ②ハザードマップづくり(操南公民館)
- ③多国籍防災会議(岡輝公民館)
- ④岡山市防災キャンプ推進事業

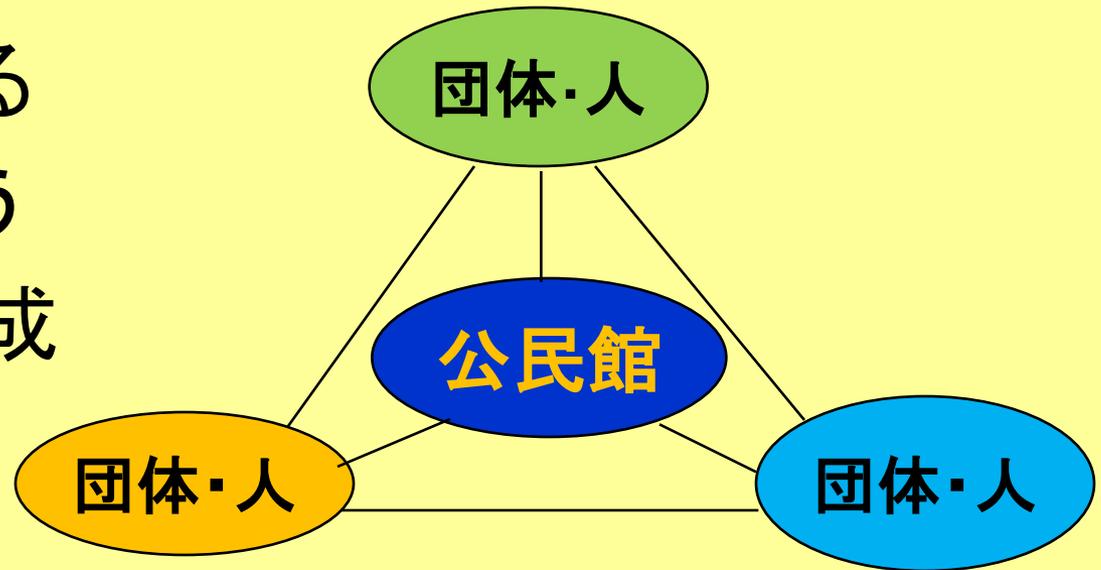
地域の防災力＝地域力

地域力向上のためには

つながる

支えあう

合意形成



公民館は人と人をつなぐ

コーディネーター

公民館事例① 岡山市防災ボランティアネットワーク

吉備公民館(2009年～)

市民が中心となって地域の防災教育に取り組む



公民館事例③ 多国籍防災会議

岡輝公民館(2012年～)

国籍を超えて地域住民としてつながる・支えあう





公民館事例④ 岡山市防災キャンプ推進事業

2012年～2013年

18館の公民館が取り組んでいる

「岡山市防災キャンプ推進事業」の特色・目的

特色

- ・子どもから高齢者まで参加
- ・子どもが地域の大人と一緒に体験的に学ぶ
- ・実行委員会形式

目的

- ・いろいろな立場の人たちが知識の習得をしたり合意形成
- ・地域のつながりによる防災対策の重要性を子どもたちに伝える

⇒ **新たなリーダー養成**
地域のネットワークづくり

公的支援

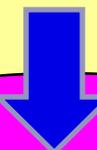
2012年

国



2013・2014年

岡山市



公民館

「岡山市防災キャンプ推進事業」

運営主体：

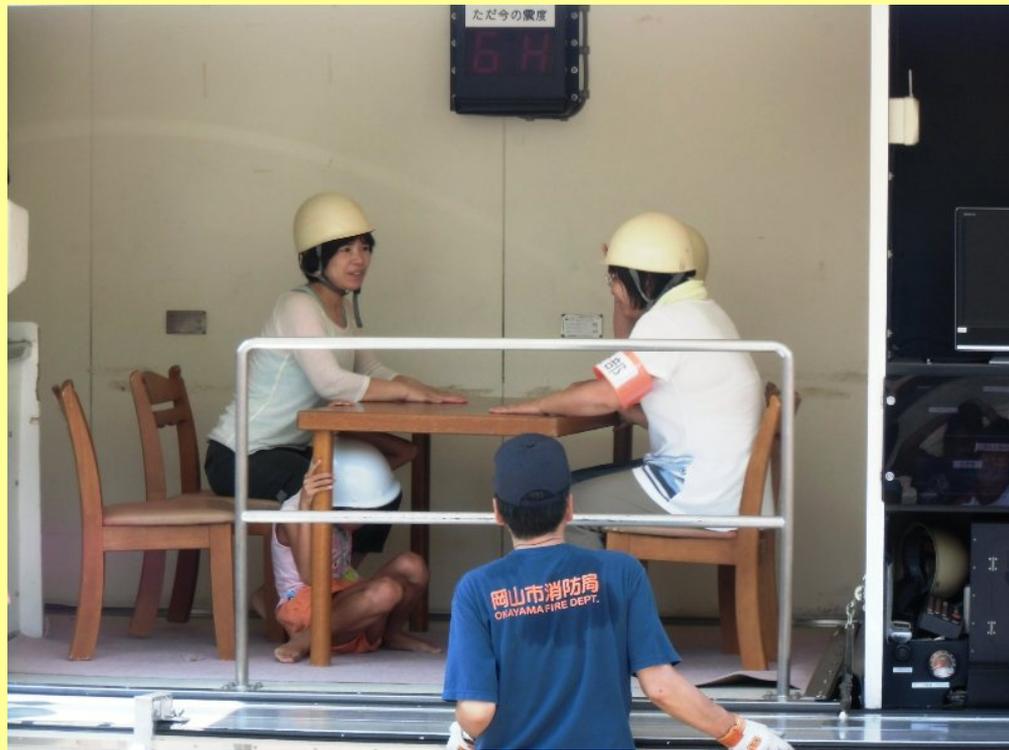
防災キャンプ実行委員会

(実施公民館ごとに設置)

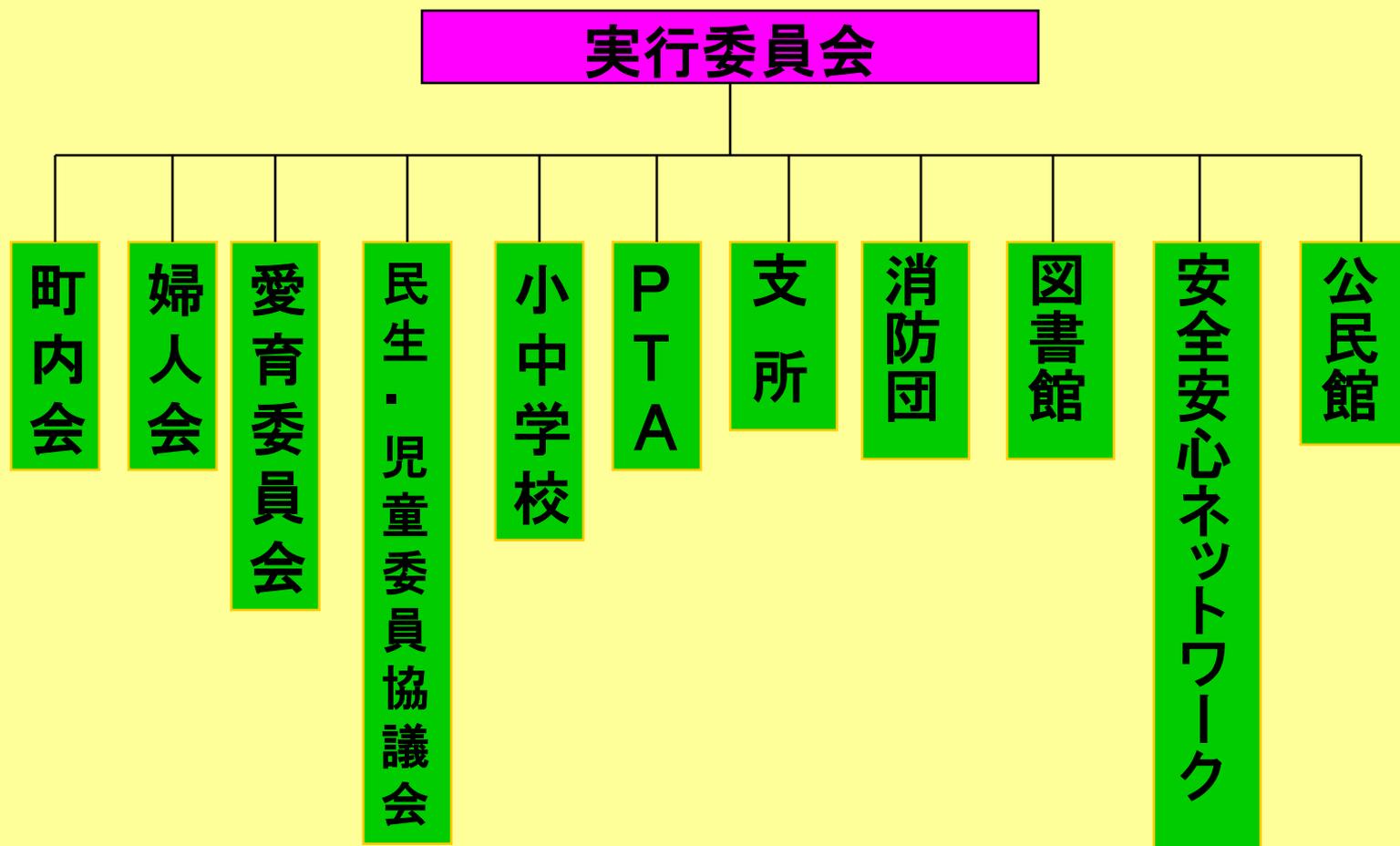


地域で防災意識を持った人・団体

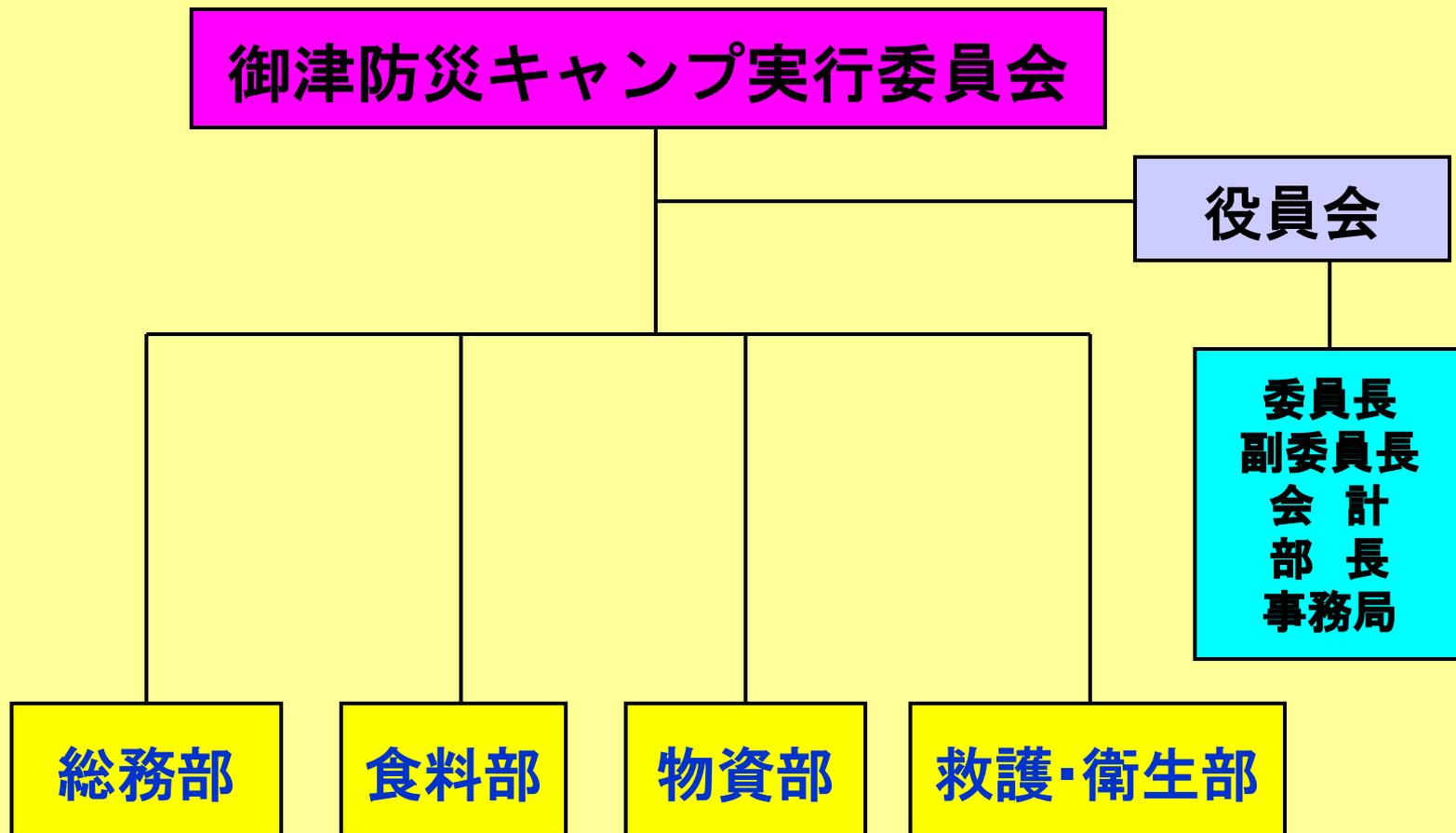
御津防災キャンプについて



実行委員会の構成団体



運営体制





プログラム例

- ①避難学習・・・防災クイズ & 新聞紙で食器とスリッパを作ろう
- ②非常食体験
- ③非常持ち出し袋作成ゲーム
- ④土嚢作り
- ⑤消火器体験
- ⑥応急処置の実習

①避難学習

- ・防災クイズ
- ・新聞紙で食器とスリッパを作ろう



②非常食体験



③非常持ち出し袋 作成ゲーム



④土嚢作り



⑤消火器体験

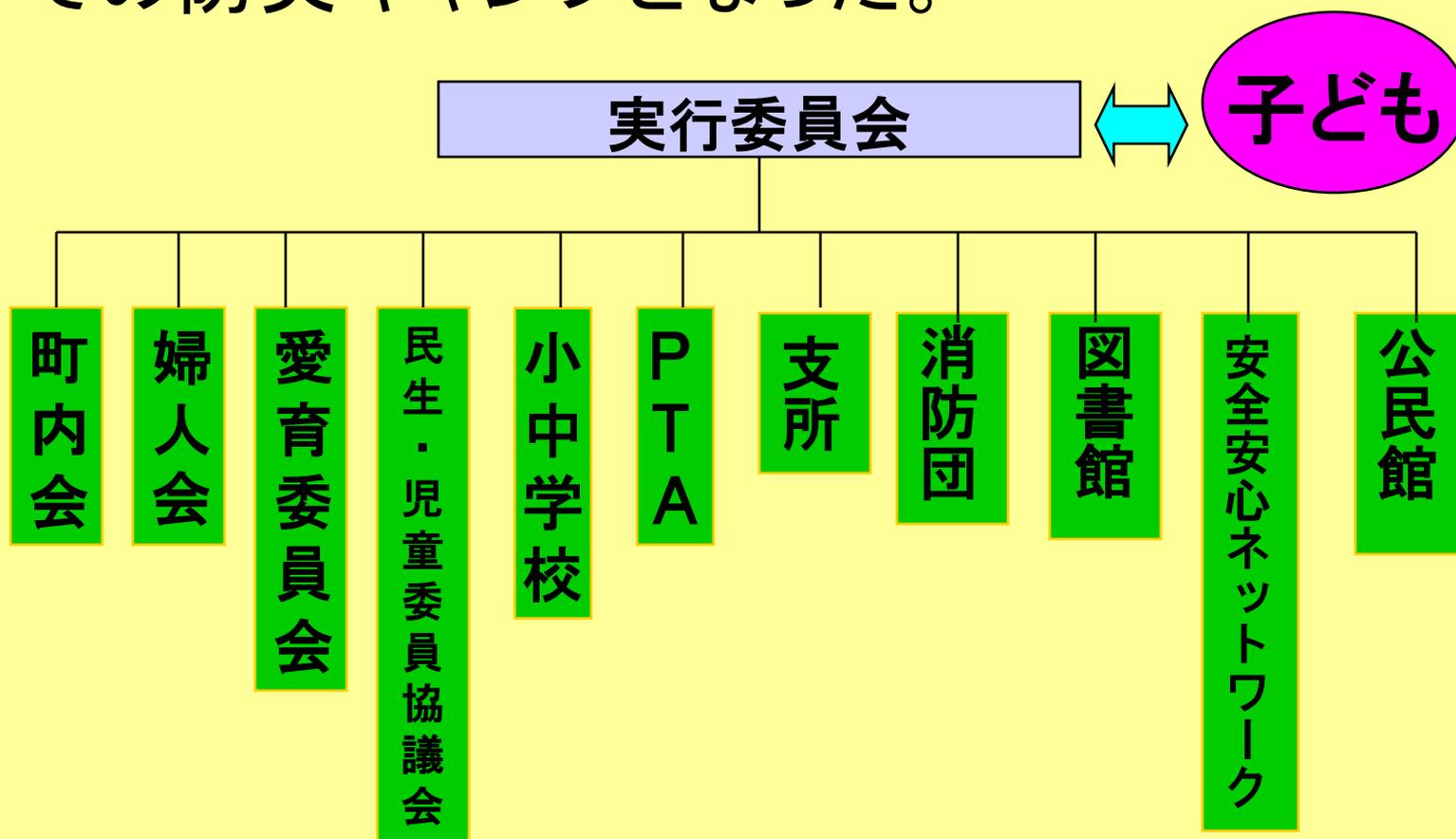


⑥応急処置の実習



成果①

- 実行委員会に、地域の各種団体が参加して行ったことで、まさに地域の総力を結集しての防災キャンプとなった。



成果②

- キャンプで学んだことは、子どもたちにとって貴重な経験となった。
一生懸命に取り組む子どもたちを、多くの地域の方々が見守り、共に行動して下さった。



「岡山市防災キャンプ推進事業」全体の成果

実施に向けた準備の過程

- ・地域の関係団体が防災意識をもち、真剣に地域の防災について考える

防災キャンプ当日

- ・「防災」をテーマに、子どもから大人まで地域住民が共に長時間を過ごす貴重な体験

今後に向けて

- ・各地域の避難所の点検をしようという機運
- ・継続しながら意識を高め、地域に広げる

岡山市公民館防災・減災事業のめざす姿

公民館での継続的な学び



自らの「命」を守り、お互いに助け合う
人が育つ



地域の課題が見えてくる

防災意識の差が大きいよね

地域で活動する人の世代
が固定化しているね



持続可能なまちづくり

ガードの幅が狭くて避難車が通りに
くしいし、道路が傾いているよ



岡山市の公民館としての今後の展望

今後解決すべき点…

大災害が起こったときのための防災教育

高齢者、女性、外国人、しょうがい者の視点

乳幼児を持つ人や若い世代の意見

地域のコミュニティ強化の必要性

岡山市の公民館で取り組む防災・減災の学びは

災害時

平常時

自 助

自分で自分の身を守る

・備蓄、避難経路と危険箇所
などの確認

共 助

・様々な技術の習得 など

周囲の人と助け合う

周囲の様子に気づく

互いに助け合うための方法を考えて実行する

自分たちが住み続けたい「まちづくり」へ

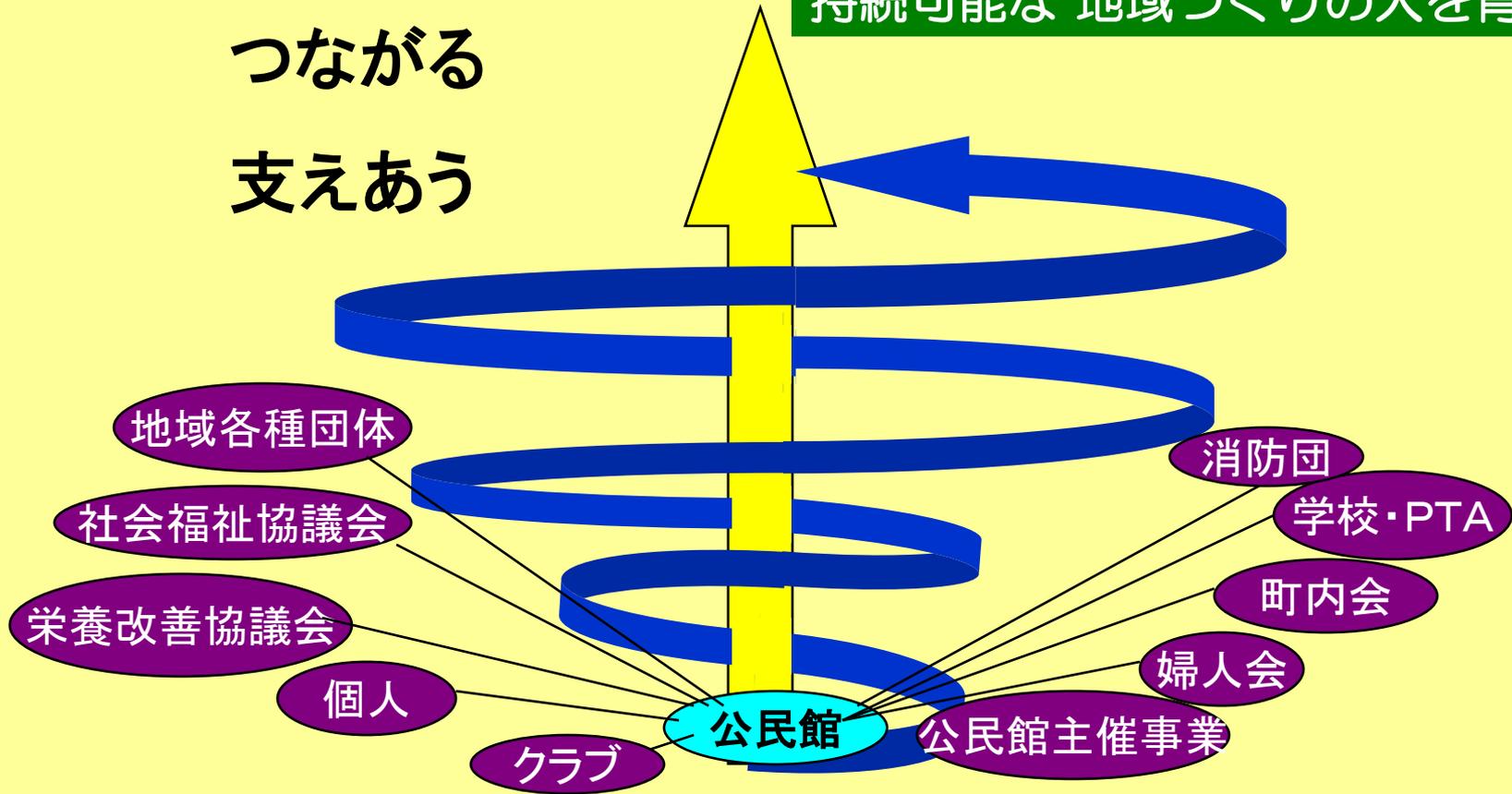
地域力を高める関係性

高次の地域力

公民館と地域が一体となって
持続可能な 地域づくりの人を育てる

つながる

支えあう





おわりに

公民館で実施する様々な事業・・・

防災に関わりながら防災以外へ視点を広げることができ、地域課題に気づくことができる学び

課題解決に周囲の人を巻き込むことができる人づくり

自分の住み続けたい「まちづくり」を担うことのできる人づくり

様々な分野から継続的に、少数から多数へと、視点を広く将来をみすえてつなぐ「核」としての機能を果たしていくことが、公民館のESD



ご清聴ありがとうございました。